

【フロアブライト® オイルクリーナー 一般用】

「フロアブライト オイルクリーナー 一般用」は、油の洗浄を目的とした洗剤です。油の種類を問わずに万能洗剤としてご使用いただけますので、油の種類が不明な場合や様々な油が複合した汚れの除去にご使用ください。

【油の種類が判っている場合】
各用途に特化したオイルクリーナーを用意しています。

◎鉱物油汚れ除去には「オイルクリーナー 鉱物油用（エンジンオイル、切削油、潤滑油などの汚れ用）」がさらに強力です。

◎植物油汚れ除去には「オイルクリーナー 動植物油用 抗菌タイプ（ラードや菜種油などの汚れ用）」がさらに強力です。

主な用途

- 自動車整備工場、工作機械工場などの床洗浄
- 食品工場、厨房などの床洗浄

【洗剤の種類】

無リン・アルカリ洗剤 pH12.0 以上
（原液）

■製品梱包

18 kg・4.5 kg
（水またはお湯で希釈して使用します）

【注意】

- 本製品はアルカリ性洗剤です。使用時にはゴム手袋などで皮膚を保護してください。また、飛沫が眼に入らないように留意してください。
- このオイルクリーナーは床ばかりでなく、壁や天井、機械類の洗浄にもご使用いただけます。塗装面に付着した油を除去する場合には塗装の変色、剥離等の有無を確認してからご使用ください。
- その他、ご不明な点はご使用前に下記までお問合せください。

①希釈液の作製

標準は希釈して使用します。油の量が多い場合には濃い液を用いてください。

◎油の多い床洗浄の場合は水で1～10倍に希釈して使用してください。

◎油が少ない場合や日常メンテナンスには水で30～50倍に希釈して使用してください。

②希釈液散布

希釈液を床に塗り広げ、3～5分程度放置してください。

油汚れは現場により様々です。上記の希釈倍率にこだわらず、状況を見ながら希釈率を変えてください。汚れの堆積が多い場合には放置時間を長め（10分程度）にすると効果的です。



③洗浄

デッキブラシや亀の子たわし、ナイロンタワシなどでこすり洗いしてください。

広い現場ではポリッシャーや自動洗浄機を用いて洗浄することも可能です。



④汚水除去

汚れを浮かせた後、水モップや濡らした雑巾、水切りドライヤー（水切りワイパー・ゴムレーキ）で汚水を拭き取ります。広い面積はポリッシャーを用いて洗浄してください。

希釈倍率の目安

（オイルクリーナーを1とした時の水の混入量です）

特にひどい油汚れには	→	1	:	0～10
ひどい油汚れには	→	1	:	10～20
普通の汚れには	→	1	:	30～100
軽い汚れには	→	1	:	80～100

【フロアブライト® オイルクリーナー 一般用 施工仕様書】

「フロアブライト オイルクリーナー 一般用」は、油の洗浄を目的とした洗剤です。油の種類を問わずに万能洗剤としてご使用いただけますので、油の種類が不明な場合や様々な油が複合した汚れの除去にご使用ください。その他、鉱物油汚れ除去に特化した「オイルクリーナー 鉱物油用（エンジンオイル、切削油、潤滑油などの油汚れ除去用）」及び、植物油汚れ除去に特化した「オイルクリーナー 動植物油用抗菌タイプ（ラードや菜種油などの汚れ除去用）」も用意していますので、用途に合わせてご選定ください。

使用方法

希釈液の作製

○水で希釈して使用します。汚れの状態に合わせて希釈倍率を変えてください。
○油の量が多い床を洗浄する場合には濃い液を用いてください。

希釈倍率の目安（クリーナーを1とした時の水の混入量）

汚れの状態	希釈率	18kg缶使用面積の目安 希釈液 0.3 kgを使用した場合
下地が見えない位油泥が堆積している汚れ	1 : 0 ~ 10	60 ~ 600㎡
全体に油が付着してベタベタの状態	1 : 10 ~ 20	600 ~ 1200㎡
全体に油が付着している状態	1 : 20 ~ 30	1200 ~ 1800㎡
油のしみがある程度	1 : 30 ~ 100	1800 ~ 6000㎡

○汚れは現場により様々です。上記希釈倍率にこだわらず状況を見ながら希釈倍率を変えてください。また、上記表では希釈液を0.3 kg/㎡ 使用した時の1缶当りの目安です。

希釈液の散布

0.3 ~ 0.5 kg/㎡
程度を散布してください。

○上記の希釈液をモップで塗り広げるか、ジョウロ等で散布し3 ~ 5分程度放置してください。

○油の堆積が多い場合には使用量を多く、また放置時間を長めに取ってください。（10 ~ 30分程度）



洗浄

広い面積はポリッシャーや自動洗浄機で洗浄してください。

一度で取りきれない場合には同じ作業を繰り返してください。

①少量の水を掛けながら
ナイロンブラシやシダブラシ
を付けたポリッシャーでこする。
ポリッシャーの入らない狭い部分は、
少量の水を掛けながらデッキブラシや
たわしでこする。



②汚れを浮かせた後に水モップや濡らした雑巾、水切りドライヤー（水切りワイパー・ゴムレーキ）などで汚水を拭き取ります。

③その後、きれいな水モップや自動洗浄機などで洗浄、拭いてから、乾燥させてください。

堆積している油の場合には1回で取り切れない場合があります。
また、水洗いの水を弾く様な時は十分に切り切れていません。
この場合には①～③を繰り返してください。



株式会社 エービーシー商会

本社：〒100-0014 東京都千代田区永田町2-12-14

最新情報はオフィシャルサイトの
商品情報ページをご確認ください



商品・企業情報 東京・大阪ショールーム

掲載商品のお問い合わせ |

無機建材事業部 info-09@abc-t.co.jp

札幌 011-231-7906

盛岡 019-652-5071

仙台 022-791-8366

埼玉 048-433-7767

東京 03-3507-7271

静岡 054-273-5670

新潟 025-282-0203

金沢 076-260-5289

名古屋 052-307-5924

大阪 06-6944-3421

広島 082-568-2903

福岡 092-413-9448

沖縄 098-864-1250

その他商品のお問い合わせ | 03-3507-7040